What's in the Box : 内容物

・コモドラックフレーム
・9 X 100 クイックリリース
・クランクアーム固定ベルト
・12x100 ハスクプラグ
・フォークマウントとナット
・Hogg
・交換用パッド
・メンテナンスクリーム

SeaSucker

KOMODO

コモドを使用する前にお読みください

警　告

・速度制限を超えないでください。
・真空マウントのポンプのインジケーターバンドが露出している場合は使用しないでください。
・ラックのすべての真空カップが一度に少なくとも 4 時間完全な真空密閉を維持できない場合は使用しないでください。
・使用中はインジケーターバンドを確認してください。
・取り付ける前に取り付け面を清掃してください。
・取り付ける前に真空マウントを清掃してください。
・真空マウントのポンプを定期的に清掃してください。
・Komodo ラックはロードバイク専用です。
・使用しないときは保護カバーを取り付けてください。真空マウントがカバーに完全に収まっていることを確認してください。
・ネジ、ナット、ボルトを定期的に点検し、必要に応じて締め直してください。
・20kg を超える自転車には使用しないでください。
・自転車を輸送する前に、フォークマウントが完全に固定され、安全であることを確認してください。

The Rack's Responsibility - 商品の責任区分

SeaSucker の真空マウントをすべて完全に取り付けると、ラックは最大 20kg のロードバイクを最高時速 120km で安全に保持します。ラックは真空マウントが真空を維持していないかどうかを表示します。各真空マウントのポンプにはオレンジ色のインジケータバンドがあり、真空が失われると伸びて見えるようになります。インジケータバンドが見えたら、ラックを再び安全に使用できるようにするには、真空マウントを再度ポンプする必要があります。

Your Responsibility - 購入者の責任区分

SeaSucker の真空マウントをすべて完全に取り付けると、ラックは最大 20kg のロードバイクを最高時速 120km で安全に保持します。ラックは真空マウントが真空を維持していないかどうかを表示します。各真空マウントのポンプにはオレンジ色のインジケータバンドがあり、真空が失われると伸びて見えるようになります。インジケータバンドが見えたら、ラックを再び安全に使用できるようにするには、真空マウントを再度ポンプする必要があります。

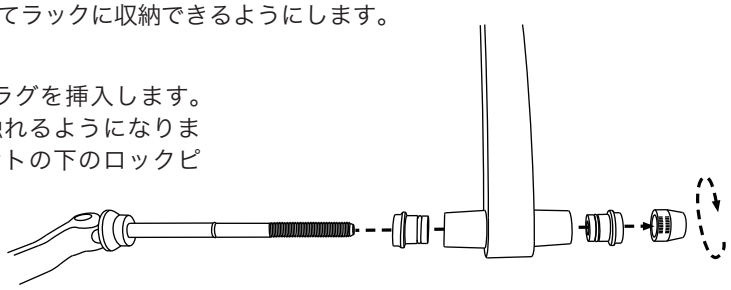
Assembly - 組付け方法

9mm QR フォークマウントの場合：

SeaSucker クラシックスキーラックは、車の屋根に取り付けるように特別に設計されています。
理想的には、ラックの真空マウントは、取り付け図のように、ルーフが最も頑丈な車のルーフの前後のコーナーに取り付ける必要があります。一部の車の屋根の金属は薄い場合があり、ラックとスキー / スノーボードの重量によって金属が一時的に湾曲する可能性があります。SeaSucker ラックの各バキューム マウントは、清潔で凹凸のない金属またはガラスの表面に取り付ける必要があります。真空マウントは、継ぎ目や素材をまたいでは取り付けられません。前後のキャリアの間隔を空けて、一番短いスキーまたはスノーボードを数インチの余裕を持ってラックに収納できるようにします。

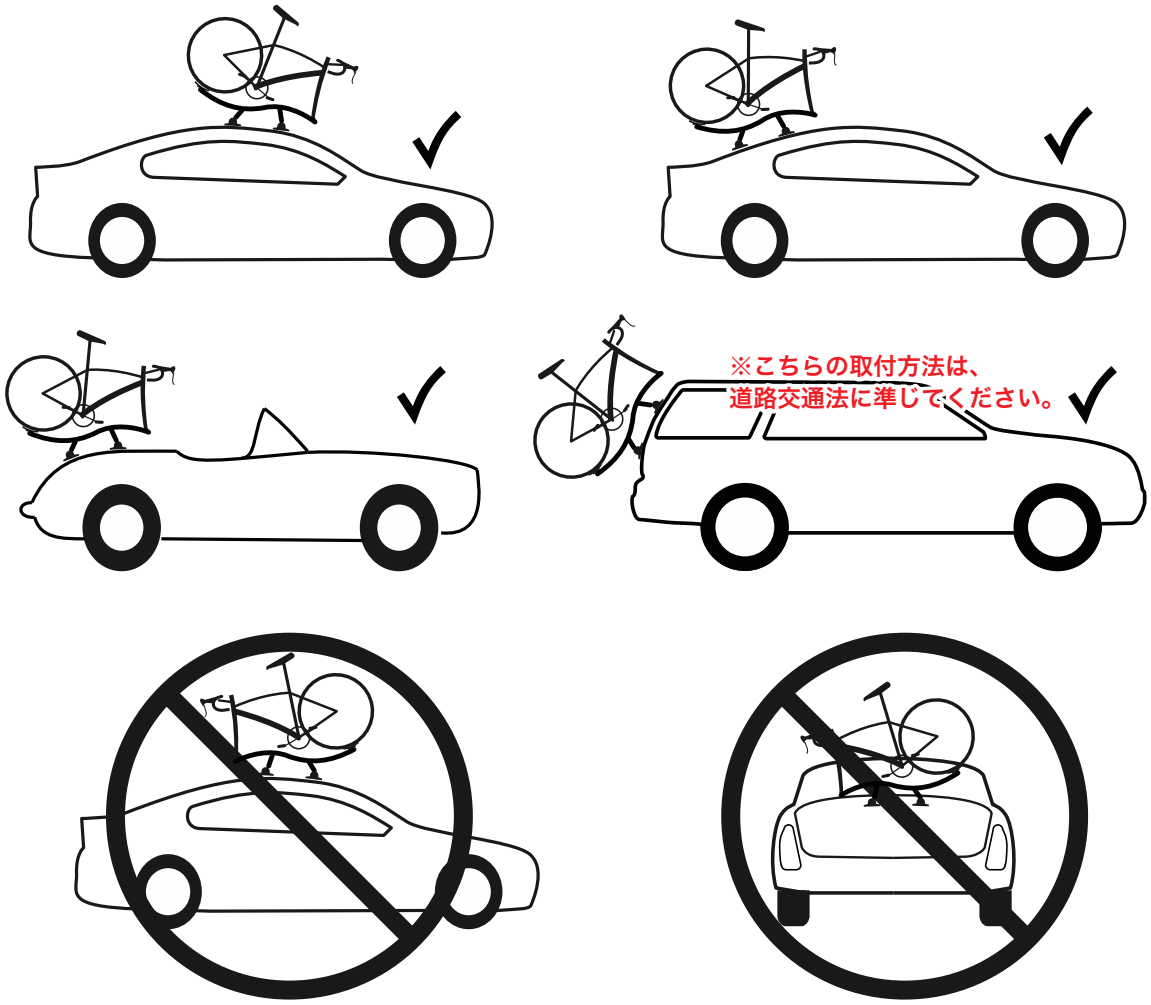
12mm スルーアクスルフォークマウントの場合：

ラックのヘッドにある穴に銀色のフォークマウントプラグを挿入します。
完全に挿入すると、プラグのカラーがラックの側面に触れるようになります。最後に、ラックのテールを展開し、テールジョイントの下のロックピンが完全に固定されていることを確認します。



Where to Attach - 取り付ける場所

Komodo は、車のトランク、ルーフトップ、またはリアガラスに取り付けられるように設計されています。
・DO NOT
自転車はハンドルバーが車両の後方を向くように取り付けます。
・DO NOT
自転車を横向きに取り付けます。
・ルーフに取り付ける場合は、ルーフの内部サポートがしっかりしているフロントガラスまたはリアガラスの近くにラックを配置します。一部の車のルーフ中央の金属は、自転車とラックの重量を支えるのに十分な強度がない場合があります。
・ハッチバック／ SUV ／バンに取り付ける場合は、自転車の後輪が車両のバンパーの下部より下がらないように注意してください。ラックの各真空カップは、清潔で障害物のない金属またはガラスの表面に取り付ける必要があります。真空カップは、継ぎ目やその他の表面の不一致の上には取り付けられません。ラックをサンルーフに取り付ける作業はお客様の責任で行ってください。まずサンルーフの強度と適合性をテストすることを強くお勧めします。
※取り付ける場合は、日本の法律を遵守してください。



Attaching Your Rack - ラックの取り付け方法

Clean and Pump : クリーニングとポンプ

1) ラックを取り付ける表面をきれいにします。ほこりや汚れが付着しているとSeaSuckerの真空性、吸着力に影響を与えます。
2) 各真空マウントからプロテクトカバーを取り外し、ゴム製の真空パッドに損傷や汚れがないかを確認します。破損がみられる場合は、ラックを使用しないでください。
3) 真空マウントが汚れている場合は、中性洗剤を水で薄めた溶液と柔らかい布またはスポンジで掃除して下さい。
4) 下端または取り付け面を水で湿らせます。真空マウントを取り付け面に密閉するように押しつけ、ポンピングします。その際、ラック本体をしっかりと押し下げ、真空マウントの全周が取り付け面に完全に密着されていることを確認してください。
5) プランジャーが跳ね返らなくなり、インジケーターバンド（オレンジ色の部分）が本体内に隠れるまで繰り返しポンピングします。ラック上の全ての真空マウントも同様に取り付けてください。

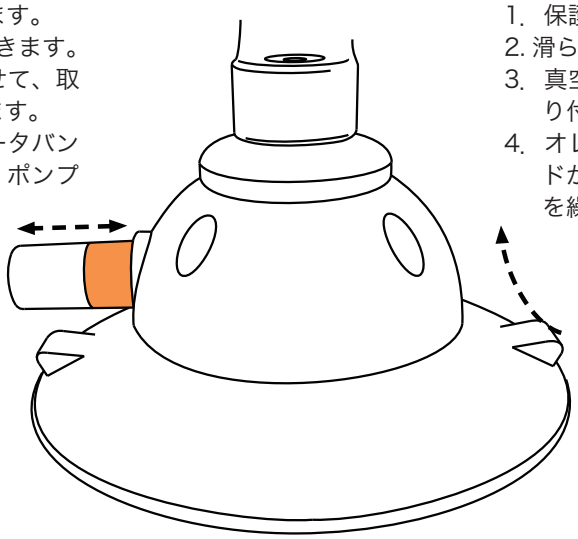
※ プランジャーがポンプシリンダーに収まらない場合、またはポンピング直後に伸び続ける場合は、取り付け面・真空パッド・ポンプに対してクリーニングやメンテナンスを行ってください。また、ラックの位置をより適切な取付位置へ移動して下さい。
※ 問題を解決せずにラックを使用しないでください。ラックの脱落につながり危険です。

添付：

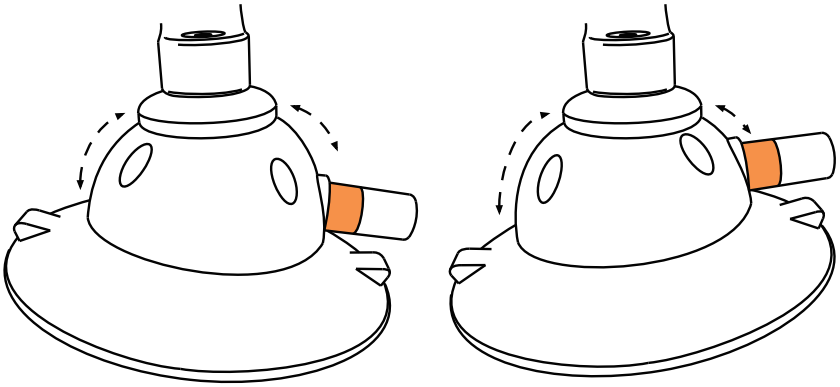
1. 保護カバーを取り外します。
2. 滑らかで清潔な表面に置きます。
3. 真空マウントを回転させて、取り付け面に平らに置きます。
4. オレンジ色のインジケータバンドが見えなくなるまで、ポンプを繰り返し押します。

添付：

1. 保護カバーを取り外します。
2. 滑らかで清潔な表面に置きます。
3. 真空マウントを回転させて、取り付け面に平らに置きます。
4. オレンジ色のインジケータバンドが見えなくなるまで、ポンプを繰り返し押します。



車の表面は、ほとんどがわずかにカーブしています。Komodo の真空カップは関節式で、わずかな圧力でカップが動き、その下の取り付け面と平行になり、ラックと車がしっかりと接続されます。さらに、Komodo の後脚はヒンジ式なので、非常に狭いスペースにもラックを取り付けることができます。Komodo を取り付ける場所を決めたら、ラックを取り付けるスペースで可能な限り最大の設置面積を確保するために、後脚を後ろに引きます。



Removing Your Rack : Lift and Cover - ラックの取り外し方とカバー

指先で SeaSucker の真空パッドのタブを取り付け面から持ち上げ、真空状態を解放します。

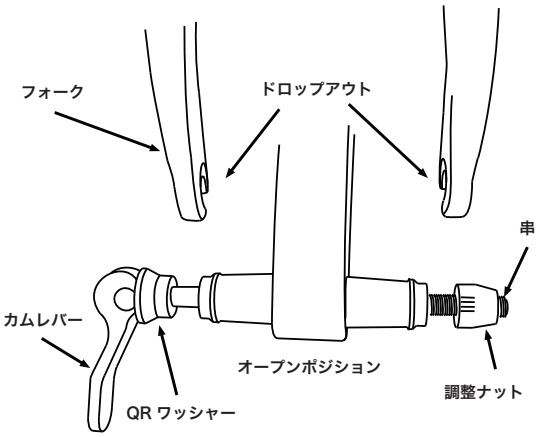
※ ラックを車に取り付けていないときは、必ず真空パッドにプロテクトカバーを取り付けて真空パッドのゴム部分を保護してください。
※ 収納前に、パッドが保護カバーに完全に収まっていることを確認してください。真空パッドが保護カバーに完全に収まっていないと、真空パッドの端が損傷したり変形したりする可能性があります。

SeaSucker ラックの取り外し方法を説明するビデオは、www.SeaSucker.com でオンラインでご覧いただけます。

9㎜でコモドに自転車を取り付け：

ラックを車両に取り付ける前に、最初にカムレバーの締め付けを設定すると簡単です。

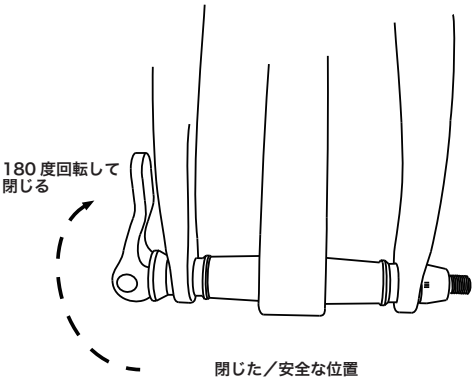
1) SeaSuckerラックを床に置きます。パッドの偶発的な損傷を防ぐため、真空パッドの保護カバーはそのままにしておきます。
2) フォークマウントのクイックリリースを開きます。カムレバーを開いた位置に置き、調整ナットを反時計回りに回して、串の端にほぼ達するまで緩めます。
3) 自転車から前輪を取り外します。
4) 自転車のフォークドロップアウトを串に取り付けます。QR ワッシャーがカムレバーの隣にあることを確認します。自転車が自力でバランスをとらない場合は、ヘルパーにつかまってもらいます。
5) カムレバーをフォークに向かって押して（開いた位置のまま）、串をフォークマウントの本体にできるだけ押し込みます。重要：カムレバー、QR ワッシャー、フォークの脚は、隙間がないようにフォークマウントの本体にしつかりと押し付けられている必要があります。完全に貫通していることを確認するために、必要に応じて手のひらの付け根でカムレバーを叩きます。
6) 調整ナットを時計回りに回し、フォークの反対側に指でしつかりと締め付けます。
7) 調整ナットを 6 回転緩めます。回転数を追跡できるように、ナットに何らかの方法でマークを付けます。
8) カムレバーを閉位置にします。レバーは約 180 度回転します。90 度回転したあたりで、カムレバーが締まり始めるのを感じるはずです。レバーを完全に閉じるには強い圧力が必要ですが、完全に閉じないほどの圧力はかけないでください。180 度閉じない場合、またはレバーまたはフォークが緩んでいる場合は、やり方が間違っています。手順 5 に戻って、もう一度試してください。9mm QR フォークマウントには大きなカムが付いているため、自転車をラックに取り付けたり取り外したりするたびに、調整ナットを緩めたり締めたりする必要がなくなります。



12 ㎜スルーアスクルでコモドに自転車を取り付ける：

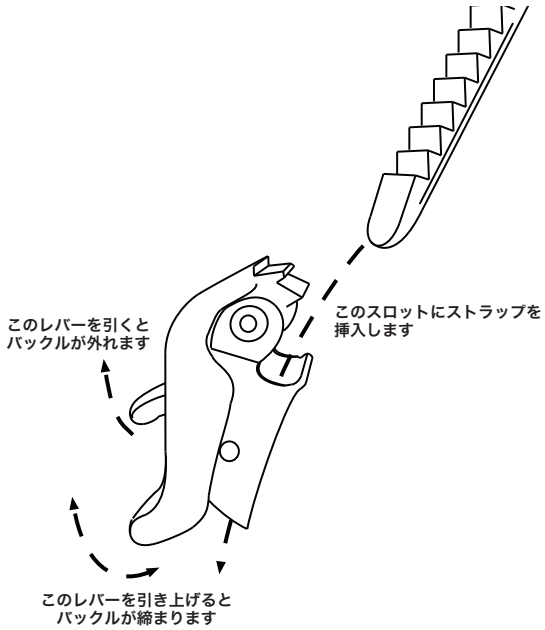
1. 自転車から前輪を取り外します。
2. 自転車のフォークをラックのヘッドに置き、フォークとフォークマウントの車軸穴を揃えます。
3. ホイールの車軸を穴に押し込み、フォークの反対側にねじ込むように回して、レバーを閉じます。車軸の取り付けは、前輪を再び取り付けるときと同じです。詳細については、ホイールまたはハブメーカーの説明書を参照してください。

フォークを掴んでしつかりと引っ張ったり押したりして、フォークマウントの締め付け具合をテストします。フォークがマウント内で動く場合は、調整ナットを調整してフォークを再度締め付け、フォークマウントを締めてください。



後輪ストラップとバックルの使用：

自転車の後輪をラックのテールにある黒いタイヤプラットフォームに取り付けます。ストラップを後輪のスポークの隙間に押し込み、ストラップの端をラックのテールの反対側にあるラチェットバックルに通します。リムパッドをストラップに取り付けて、締めたときにパッドがリムの中央にくるようにします。バックルを繰り返し持ち上げてストラップを締め、後輪が固定されるまで続けます。後輪ストラップを外すには、バックルの中央にあるタブをバックルの上部に向かって押しながら、同時にストラップを引っ張ってストラップがバックルから外れるようにします。

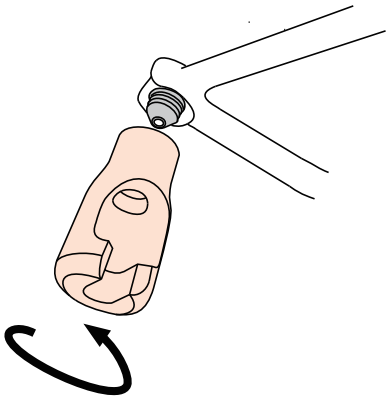


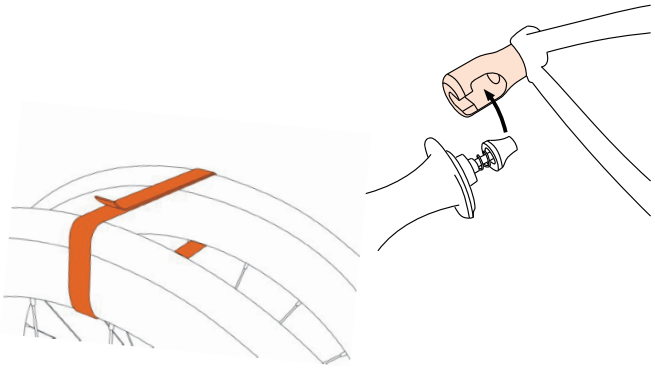
自転車とラックのロック：

Sea Sucker の自転車ラックは車に永久的に取り付けることはできないため、自転車やラックを放置するときは注意してください。ラックを使用しないときは、ラックを取り外して自宅や車内に適切に保管することをお勧めします。SeaSucker のケーブルアンカーを使用して、自転車とラックを車にロックできます。ケーブルアンカーは、ケーブルタイプのロックを取り付けるための頑丈なスチールループを提供します。

Hogg フロントホイールホルダーの使用：

セットアップ：
自転車の後輪の串ナットを、Hogg に付属のねじ付き串ナットに交換します。
前輪の取り付け：
1. Hogg をねじ込み式串ナットにねじ込みます。Hogg と串ナットは逆ネジになっていることに注意してください。取り付ける場合は Hogg を反時計回りに回し、取り外す場合は時計回りに回します。
2. ホイールの串ナットを Hogg の空洞に挿入して、前輪を Hogg に取り付けます。通常どおり串を締めて、ホイールを Hogg に固定します。
3. 回転防止ストラップを前輪と後輪の両方に通して、運転中に前輪が回転しないようにします。

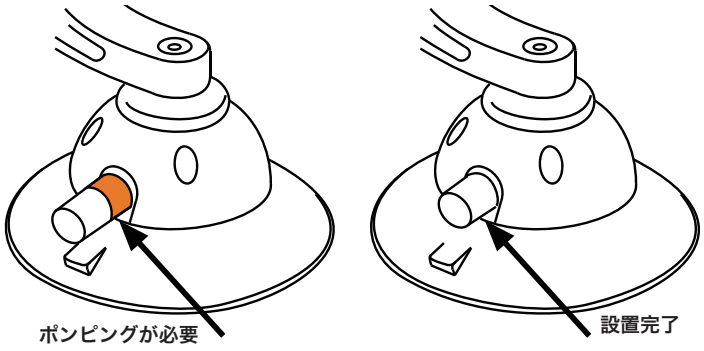




首輪の取り外し：
1. オレンジ色の Vencro 回転防止ストラップを外し、安全な場所に保管します。
2. 前輪のクランプを外し、Hogg から取り外します。
3. 後部の串ナットから Hogg を時計回りに回して外し、安全な場所に保管します。

Check for the Indicator Band During Use - 使用中のインジケーターバンドの確認

SeaSucker 真空マウントは、車に恒久的に取り付けることを意図したものではありません。時間の経過とともに真空が失われます。真空マウントが真空を失うと、ポンプのプランジャーを伸ばしてオレンジ色のバンドを露出させて警告します。使用中は真空マウントを監視する必要があります。車に乗り降りするときは、ラックの真空マウントにインジケータ バンドが見えるかどうかを確認してください。バンドが見える場合は、上記の手順で SeaSucker を再度ポンピングしてください。インジケータバンドが最大強度までポンピングしてから 4 時間以内に見えてしまう場合は、クリーニング、メンテナンス、または再配置が必要な場合があります。ラックが傷のある表面に取り付けられている場合は、ラックをより適切な位置に移動します。取り付け面や真空マウントが汚れている場合は、清掃してください。これらの手順を実行してもバキュームマウントの吸着力に改善が見られない場合は、問題が解決するまで使用を中止してください。劣化や消耗した真空マウントのポンプは、必要に応じてラックに付属のスペアと交換してください。
追加の交換部品は、オンラインストアの交換部品ページにて購入できます。



気象条件

SeaSucker 製品は寒い季節にも使用できます。
真空マウントは、低温では硬くなります。真空マウントは取り付け時に取り付け面に密着させる必要があるため、使用前にラックを室温 (16 度程度) で保管することを強くお勧めします。真空マウントが冷えすぎることでパッドが硬くなり、適切に取り付けることが出来ません。取付面には、真空マウントが完全に密閉するのを妨げる可能性のある氷、雪、汚れ、およびその他のものがあってはなりません。凍結温度では、真空マウントの端を水で湿らせてはいけません。
雨や雨天が SeaSucker ラックの性能に影響を与えることはありません。雨や水が真空ポンプの中に入った場合は、プランジャーを引き出して、きれいなペーパータオルでポンプシリンダーの内側を乾かします。必要に応じてプランジャーシールを潤滑油チューブで注油し、プランジャーをポンプシリンダーに再度挿入 します。
ネジやその他の金属部品にサビや腐食がみられた場合は部品を交換してください。

お手入れとメンテナンス

SeaSucker ラックを最大限に活用するには、定期的に検査し、真空マウントのプロテクトカバーを付けて保管してください。

・すべてのネジがしっかりと締められていることを確認します。
・真空マウントは使用前に毎回スポンジまたは柔らかい布、中性食器用洗剤、水で洗浄してください。このとき、刺激の強い溶剤や研磨性のクリーニング パッドは使用しないでください。真空パッドの端の部分の剛性、亀裂、粗さ、または切れ目を確認します。損傷した真空パッドは交換してください。
・ポンプは定期的に掃除する必要があります。本体からまっすぐ引き抜き、シリンダーの内側を食器用洗剤と柔らかい布またはペーパー タオルで拭いてください。その後、シリンダー内を完全に乾かします。シリンダー内に水が残っていると、ポンプの逆止弁機能が妨げられる場合があります。
・プランジャーをきれいに拭き上げ、プランジャーの先端にある黒いゴム製シールを、ラックに付属の潤滑油チューブなどのシリコンベースのゲル潤滑剤の薄い層で再潤滑する必要があります。洗浄後、プランジャーを押し戻します。シリンダーを数回ポンピングして、適切に装着し、潤滑剤を分配します。

※交換用の SeaSucker 真空マウント、バキュームポンプ、および潤滑油チューブは、弊社のオンラインショップにてご購入いただけます。

ラックに付属の潤滑チューブは、真空ポンプのメンテナンス専用です
真空マウントに潤滑剤を塗布しないでください

右の QR コードよりメンテナンスの方法がご確認いただけます。

https://youtu.be/KzTsjyWAAzc

トラブルシューティングガイド

問題	問題点	修正方法
ゆっくりと空気が入る	取付面 及び 真空パッドの乾燥	取付面 及び 真空パッドを湿らせる
	真空パッドの傷	真空パッドを交換する
	ポンプ内の汚れ	プランジャーとポンプシリンダーを洗浄し、再潤滑する
	ポンプ内の乾燥	プランジャーシールを再潤滑する
	真空パッドの汚れ	きれいな布と水で拭き上げる
	取付面の汚れ 又は 凹凸	取付面の清掃 又は 適切な場所に移動させる
すぐに空気が入る	真空パッドの損傷	真空パッドを交換する
	ポンプの損傷	真空ポンプを交換する
	取付面の汚れ 又は 凹凸	取付面の清掃 又は 適切な場所に移動させる
ポンプの詰まり または 動きの鈍さ	ポンプ内の乾燥	プランジャーシールを再潤滑する
	パッドの空気穴が塞がっている	汚れやゴミを取り除く プランジャーとポンプシリンダーを洗浄し、再潤滑する
	ポンプ内の汚れ	プランジャーとポンプシリンダーを洗浄し、再潤滑する

使用上の注意事項

・制限速度を超えないようにしてください。
・最大荷重 約 20 kg を超えて運ばないでください。
（最大荷重はラック本体のものであり、取り付け面の強度が不足する場合はこの限りではありません。）
・SeaSucker のポンプにあるインジケータバンドが露出している場合は使用しないでください。
・ラックのすべてのマウントが完全に吸着している状態を少なくとも 4 時間維持できない場合は、使用しないでください。
・取り付け前に取り付け面を清掃してください。
・取り付け前に真空マウントをきれいに清掃してください。
・真空ポンプは定期的に洗浄し、注油してください。
・ネジ、ナット、およびボルトを定期的に検査し、必要に応じて締め直してください。
・使用しないときは、真空マウントがプロテクトカバーに完全に収まっていることを確認してください。
・十分なスペースを確保せずに、屋根に荷物を載せたまま車庫等に車を駐車しないでください。

所有者の責任事項

・このユーザーマニュアルの指示を読み、それに従う必要があります。
・ラックを車両に正しく取り付け、使用前に毎回確認し、必要なメンテナンスを行う必要があります。
・ラックを車両に正しく取り付けることは非常に重要であり、お客様のみが管理できます。
・荷物をラックに正しく取り付けることは非常に重要であり、お客様のみが管理できます。
・車両に乗り降りするときは、すべての SeaSucker のインジケーターバンド（オレンジ色の部分）を検査する必要があります。
・ラックのポンプが完全に吸着しているかを確認し、インジケーターバンド（オレンジ色の部分）が見える場合は、ラックを使用する前に SeaSucker を再度ポンプする必要があります。
・少なくとも 4 時間真空を保持しない SeaSucker 真空マウントはクリーニング、修理、または交換が必要になる場合があります。ラックには予備の SeaSucker 真空ポンプが付属しています。誤ってラックを損傷した場合に備えて、ラックと一緒に保管してください。
・掲示されているすべての法定速度制限と交通状況に従わなければなりません。
・運転スタイルと速度を、道路状況、気象条件、SeaSucker ラックの負荷に合わせて調整する必要があります。
・SeaSucker は取り外すことが前提になっている製品であり、これらが守られない場合、走行中にラックが脱落し重大な事故につながる可能性があります。日本の法令及び道路交通法に準じて、上記内容を必ず順守してください。

返品

SeaSucker Japan から直接この製品を購入し、一度も使用していない場合は、購入後 30 日以内に返品して交換または返金を受けることができます。

修理と交換

保証対象外の損傷がある製品や保証期間を過ぎた製品でも、お客様の費用負担で修理または交換することができます。真空パッド、ポンプ、フォークマウント、ハードウェアなどの交換部品は、SeaSuckerJapan のオンラインストアの交換部品セクションで購入できます。

保証

SeaSucker Japan は、材料および製造上の欠陥に対する 1 年間の譲渡不可の保証を提供します。欠陥のある製品は、最初の購入日から 1 年以内に SeaSucker Japan に返品して交換または修理を受けることができます。
(SeaSucker Japan の選択による)。保証請求には、販売領収書またはその他の購入証明書を添付する必要があります。欠陥のある部品またはアクセサリの修理または交換のための SeaSuckerJapan への往復の輸送費は、この保証の対象外であり、所有者の負担となります。この保証は、通常の使用、日常的な消耗、メンテナンス不足、ユーザーの誤り、製品の改造、事故、乱用、または怠慢に起因する損傷または故障には適用されません。この保証は、明示または黙示を問わず、商品性および特定目的への適合性に関する黙示の保証を含むがこれに限定されない、その他のすべての書面または口頭による保証に代わるものであり、この保証の期間および仕様に限定されます。SeaSucker Japan の、欠陥があるとされる製品に関連する損害に対する責任は、製品の使用または使用不能に起因するか、不法行為、契約またはその他の法的理論に基づいて主張されるかにかかわらず、当該製品に対して実際に支払われた価格に限定され、SeaSuckerJapan がそのような損害の可能性を認識していたとしても、法律で免責される最大限の範囲で、使用不能、時間損失、付随的、結果的、特別、または間接的な損害は、いかなる場合も含まれません。

販売元
株式会社リガーマリンエンジニアリング
〒511-0283　三重県いなべ市大安町南金井 1732 番地
WEB ：http://www.regar.co.jp
TEL ：regar@regar-m.jp

(Powerd by SeaSucker)

令和４年
５月13日から
施行

変わります！
自動車の積載制限

「自動車の積載の制限の見直し」等を内容とする道路交通法施行令の一部を改正する政令により、
積載物の長さや幅等についての制限が変わりました。

改正により、一部の制限外積載許可申請が不要になります

	改正令の施行前		改正令の施行後		
	長さ	幅	長さ	幅	
積載物の大きさの制限（施行令第 22 条第 3 号）	自動車の長さにその長さの 10 分の 1 の長さを加えたもの	自動車の幅	自動車の長さにその長さの 10 分の **2** の長さを加えたもの	自動車の幅にその幅の **10 分の 2 の幅を加えたもの**	左記の規定を超えた積載をして車両を運転する場合には、「制限外積載許可」が必要となります。
積載方法の制限（施行令第 22 条第 4 号）	自動車の車体の前後から自動車の長さの 10 分の 1 の長さを超えてはみ出さないこと	自動車の車体の左右からはみ出さないこと	自動車の車体の前後から自動車の長さの 10 分の 1 の長さを超えてはみ出さないこと	自動車の車体の左右から**自動車の幅の 10 分の 1 の幅を超えて**はみ出さないこと	

ココは 変わりません！

以下の自動車の積載に関する留意事項は変わりません。
安全運転を心がけましょう。

荷台や座席でないところに荷物を積んではいけません。

定められた積載の制限を超えて、物を積んではいけません。

運転の妨げになったり、自動車の安定が悪くなったりする積み方をしてはいけません。

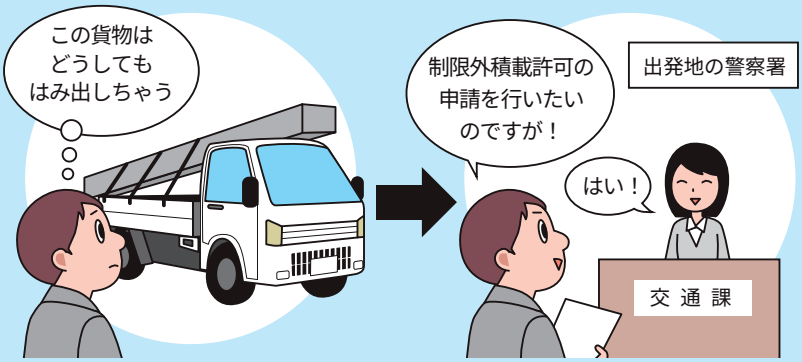
方向指示器、ナンバープレート、ブレーキ灯、尾灯等が見えにくくなるような積み方をしてはいけません。

荷物が転落しないように、ロープやシートを使って荷物を確実に積まなければなりません。

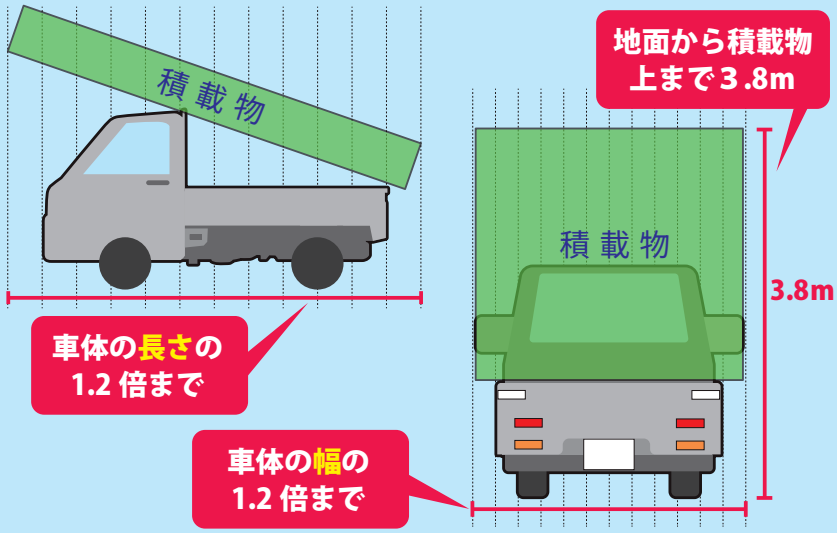
警察庁・都道府県警察

制限外積載許可制度とは？

貨物が分割できないものであるため、積載物の重量、大きさや積載の方法の制限を超えることとなる場合において、制限を超える積載をして車両を運転する方が、出発地を管轄する警察署長の許可を得るための手続です。



施行後はこうなる！ 積載物の大きさの制限



長さ

自動車の長さにその長さの10分の２の長さを加えたものを超える場合

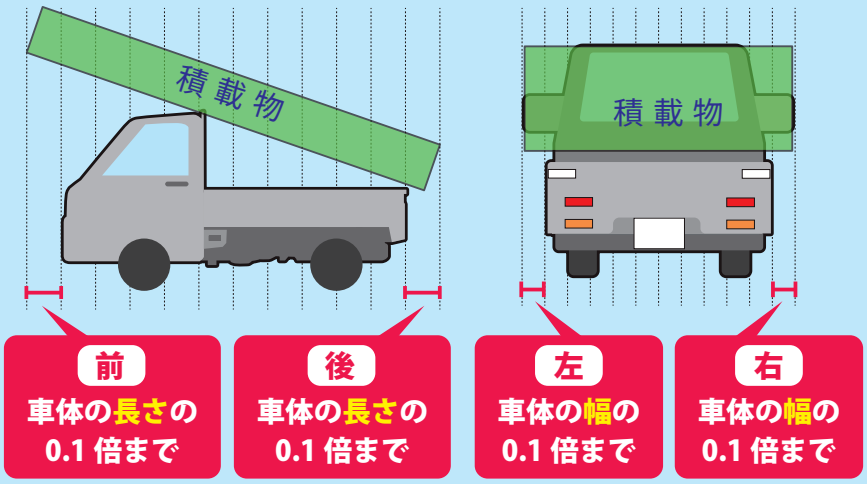
幅

自動車の幅にその幅の10分の２の幅を加えたものを超える場合

高さ

3.8 メートル（軽四及び三輪自動車は2.5メートル）からその自動車の積載場所の高さを減じた高さを超える場合

施行後はこうなる！ 積載方法の制限



前後

自動車の車体の前後から自動車の長さの 10 分の１の長さを超えてはみ出す場合

左右

自動車の車体の左右から自動車の幅の 10分の１の幅を超えてはみ出す場合